



## 町長エッセイ



冬の小川町を熱く盛り上げたのが、第23回小川和紙マラソン大会でした。平成5年に始まったこの大会は年ごとに盛大となり、「今年も和紙のふるさと小川町を走ろう」と全国各地から集まった4,855名のランナーをお迎えしました。

メインはやはりハーフマラソンで、適度なアップダウンのコースは好評で全国ランニング大会100撰にも入っています。汗をかいたランナーが冷えた体を温めるおもてなしの豚汁も大好評で、さらに自分だけのオリジナル「完走証」がダウンロードできたり、フィニッシュの瞬間の写真とタイムが完走ランナーに届くサービスもありました。

大会を支え応援していただくボランティアの皆さんは800人以上にのぼりました。

白バイによる先導、消防署員、ドクターカー、コース沿いの地元の役員の方々のご協力、そして町民の皆さんには大がかりな交通規制にもご協力いただきました。

時々小雨の降る空模様が心配でしたが、そんなことはものともせず「暑いより有り難い」と走り去って行ったランナーと、親子でゴールし、自身の目標を達成されたランナーの皆さんの微笑ましい光景が印象的でした。